



2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月7日
東

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所
 コード番号 2438 URL <https://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の連結業績(2024年5月1日~2025年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	5,444	4.7	317	△5.6	323	△9.2	199	△14.0
2024年4月期第3四半期	5,201	—	336	—	356	—	232	—

(注) 包括利益 2025年4月期第3四半期 203百万円(△18.9%) 2024年4月期第3四半期 250百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	12.33	—
2024年4月期第3四半期	14.07	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2024年4月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	6,716	5,997	89.2
2024年4月期	7,090	6,156	86.8

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 5,997百万円 2024年4月期 6,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2025年4月期	—	0.00	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,720	9.7	520	16.2	535	12.9	324	51.4	19.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年4月期3Q	17,464,000株	2024年4月期	17,464,000株
2025年4月期3Q	1,450,546株	2024年4月期	1,007,057株
2025年4月期3Q	16,189,607株	2024年4月期3Q	16,492,290株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、インバウンド需要の増加により緩やかな景気回復が続いております。一方、ウクライナや中東の地政学リスクや、米国新政権など海外の不安定要因や、物価上昇による個人消費への懸念など依然として先行き不透明な状況は継続しております。

このような環境の中、当社は、景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等画像映像のデジタル加工や通信出力サービスを主に提供するフューネラル事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するフォトブック事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指す空中ディスプレイ事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部売上を含んでおります。

(フューネラル事業)

当事業におきましては、自社営業による新規顧客契約を積み重ねるとともに、第3四半期におきまして葬儀施行件数が全国的に増加したため、画像処理収入が着実に増加しました。また、サプライ品の売上は想定より苦戦したものの、屋内、屋外向けディスプレイ機器やLEDビジョンなどのハード機器売上が好調でした。また、葬儀業界向けDXサービスである「tsunagoo」は契約数は計画を下回っているものの、弔電や供花などの利用件数が計画を上回っており、利用が活発化しております。

利益面につきましては、画像加工部門のオペレーターの人件費や各種ソフトウェアやクラウドサービスの利用料が増加したものの、サプライ品の粗利益率の改善や画像処理オペレーションの生産性向上などにより、セグメント利益は増加いたしました。

その結果、売上高は2,502,060千円（前年同四半期比104.0%）、セグメント利益は582,770千円（前年同四半期比109.5%）となりました。

(フォトブック事業)

当事業では、プロフェッショナル写真家向け市場では「アスカブック」、一般消費者向け市場では「マイブック」ブランドで展開しております。また、スマートフォンで撮影された写真をもとにフォトブックや写真プリントをOEM供給しております。

プロフェッショナル写真家向け市場では、主力であるウェディング向け写真集が、ウェディング市場の全般的な市況悪化の影響を受け、苦戦を余儀なくされました。取り組みとしましては、オンラインセミナーを充実させるほか、顧客向けのビジネス資料の提供や発注ソフトウェアの機能強化などを進めてまいりました。AI画像処理レタッチソフトの取扱いは開始しておりますが、多くの顧客の要望に応えるための機能改善を待ちつつ、潜在顧客の掘り起こしを継続しております。

一般消費者向け市場についても、依然として厳しい環境が継続しており苦戦しておりますが、各種キャンペーンや、マイブック25周年フォトコンテストを実施するとともに、季節用品となるカレンダーや卒業アルバムのプロモーションを進めてまいりました。バーチャルビジネス分野では、XR・メタバース展に出展し、連結子会社である株式会社BETでのイベントのサポートや、ファングッズの販売などを実施してまいりました。

利益面につきましては、省力化設備の導入による生産性の向上やKAIZEN活動の成果により一定のコスト削減は実現しましたが、稼働率低下による固定費の負担増や材料費値上げなどによるコストアップの影響を受け、セグメント利益は苦戦いたしました。

その結果、売上高は2,812,259千円（前年同四半期比104.6%）、セグメント利益は435,608千円（前年同四半期比84.5%）となりました。

(空中ディスプレイ事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指しており、独自技術により空中結像を可能にする「ASKA3Dプレート」について、ガラス製、樹脂製それぞれ開発、製造、販売しております。

営業面につきましては、国内は自社営業を主として、海外は代理店を主として販売を推進しております。国内に

おきましては、着実に設置事例を積み上げてまいりました。導入先インタビューコンテンツや施設向け提案資料などを拡充してまいりました。海外におきましては、中国では代理店が積極的に活動し自動車など産業用途での開発を進めておりますが、一定の時間を要しております。また、新たに設置したシンガポール、韓国、タイの代理店活動のサポートを行い、ウェブサイトの多言語化の充実などを図った一方で、サイネージ向けのセンサーの供給が想定通りに行われていないこともあり、中東など全般的に海外代理店経由の案件獲得が遅れており、売上は想定を下回るものとなりました。また、当社が従来より保持しております能動系の技術を活用した初期的な試作開発を受託いたしました。

製造・開発面につきましては、環境性能に優れた素材での製造開発を進めており、また自社技術開発センターでは中型サイズの品質向上、製造安定化を進め、一定の成果を得ました。また、量産案件を前提とした品質管理体制の強化に継続的に取り組んでまいりました。

損益面につきましては、人件費が増加したものの、案件ごとの採算向上を進め、広告宣伝費や研究開発費を適切にコントロールしてまいりました。

その結果、売上高は134,328千円（前年同四半期比117.9%）、セグメント損失は205,343千円（前年同四半期は234,838千円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,444,406千円（前年同四半期比104.7%）、経常利益は323,718千円（前年同四半期比90.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は199,645千円（前年同四半期比86.0%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ374,072千円減少し、6,716,371千円となりました。これは主に、自己株式の取得等により現金及び預金が314,207千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ214,606千円減少し、719,023千円となりました。これは主に、未払金が88,751千円、賞与引当金が90,010千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ159,466千円減少し、5,997,348千円となりました。これは主に、自己株式の増加245,869千円及び配当金の支払い115,198千円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を199,645千円計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月10日に発表いたしました2025年4月期連結業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,665,015	1,350,808
受取手形及び売掛金	902,010	966,954
商品及び製品	648,580	600,349
仕掛品	68,847	67,827
原材料及び貯蔵品	102,728	102,000
その他	80,576	90,016
貸倒引当金	△9,851	△11,099
流動資産合計	3,457,907	3,166,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	831,048	789,806
機械装置及び運搬具(純額)	493,357	404,661
土地	844,060	844,060
その他(純額)	177,497	245,816
有形固定資産合計	2,345,964	2,284,344
無形固定資産		
のれん	298,891	269,966
その他	204,950	192,747
無形固定資産合計	503,842	462,714
投資その他の資産		
投資有価証券	571,582	575,690
その他	211,147	226,763
投資その他の資産合計	782,730	802,454
固定資産合計	3,632,536	3,549,513
資産合計	7,090,444	6,716,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,134	136,882
未払金	257,203	168,451
未払法人税等	85,473	45,195
賞与引当金	184,950	94,940
その他	223,527	267,652
流動負債合計	926,289	713,122
固定負債		
退職給付に係る負債	4,704	4,343
その他	2,635	1,557
固定負債合計	7,340	5,900
負債合計	933,629	719,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	626,380	624,759
利益剰余金	5,626,124	5,710,570
自己株式	△627,799	△873,668
株主資本合計	6,115,005	5,951,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,808	45,387
その他の包括利益累計額合計	41,808	45,387
純資産合計	6,156,814	5,997,348
負債純資産合計	7,090,444	6,716,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	5,201,946	5,444,406
売上原価	2,816,481	2,988,458
売上総利益	2,385,465	2,455,948
販売費及び一般管理費	2,048,970	2,138,259
営業利益	336,494	317,688
営業外収益		
受取利息	3,828	2,065
受取配当金	1,575	2,125
保険金収入	4,462	—
為替差益	7,891	550
その他	2,982	2,272
営業外収益合計	20,740	7,013
営業外費用		
自己株式取得費用	448	720
投資事業組合運用損	450	249
その他	—	13
営業外費用合計	898	983
経常利益	356,336	323,718
特別損失		
固定資産除却損	7,917	11,431
特別損失合計	7,917	11,431
税金等調整前四半期純利益	348,419	312,287
法人税、住民税及び事業税	116,340	112,642
法人税等合計	116,340	112,642
四半期純利益	232,079	199,645
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,079	199,645

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	232,079	199,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,528	3,578
その他の包括利益合計	18,528	3,578
四半期包括利益	250,608	203,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,608	203,223

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディス プレイ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,405,477	2,683,096	113,372	5,201,946	—	5,201,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,377	540	4,917	△4,917	—
計	2,405,477	2,687,473	113,912	5,206,863	△4,917	5,201,946
セグメント利益 又は損失(△)	532,257	515,561	△234,838	812,980	△476,486	336,494

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△476,486千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社BETの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「フォトブック事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、308,533千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フューネラル 事業	フォトブック 事業	空中ディスプレイ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,502,060	2,808,017	134,328	5,444,406	—	5,444,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,241	—	4,241	△4,241	—
計	2,502,060	2,812,259	134,328	5,448,648	△4,241	5,444,406
セグメント利益 又は損失(△)	582,770	435,608	△205,343	813,035	△495,347	317,688

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△495,347千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	284,503千円	276,160千円
のれんの償却額	一千円	28,925千円